

錦江湾沿岸の環境整備の状況を示せ



中馬 幹雄 議員

問 海水の水質検査及び土壌検査実施を問う。湾奥海岸の干潟は、貝類及び魚の生息が激減しているが、その原因究明と対策はどのようにしているか。



錦江湾奥海岸の干潟

消えたり、消えなかったセンターラインや横断歩道の塗り替え状況を問う



池田 綱雄 議員

問 この件は、三年前にも質問をし、その後計画的に塗り替えられているが、手つかずの所も多く見られる。白線や横断歩道が見づらいための死亡事故も発生している。対象路線と延長と塗り替えの状況を問う。

答 調査の結果、141路線、402kmの引き直しが必要であり、交通量の多い消えかけたセンターライン等を優先に引き直しをしている。今後も交通事故防止対策に重要であるので計画的に進める。



答 水質検査は、県の鹿児島湾ブルー計画により、天降川河口沖で行っており、過去10年間、県が定めた水質保全目標を達成できていない。また、土壌検査は、天降川河口干潟ほか2か所で行っている。調査結果では、ヘドロ化はしていないが、富栄養化の傾向にあり、今後進行すれば貧酸素状態となり、生物の生息に適さない環境になる恐れがある。これらの結果を踏まえ、良い環境を、責任をもって次世代に引き継ぐべく総合的に検討し、漁協及び湾奥会議と連携しながら海の環境健全化に努力していく。

その他の質問
・畜産振興について



新川北線の進捗状況を問う

問 新川北線は、県道野口線や国道10号の交通渋滞を補完し、天降川小学校への通学路として計画された。その進捗状況と終点からAコープ手前信号機までの未計画約200m間の整備計画は、どのように考えているのか。

答 現在、しらさぎ橋の建設中で、天降川小学校までの間560mを平成28年度の完成を目指しており、残り約800mは一期工事の進捗を見ながら進めていきたい。また、未計画区間の約200mの計画については前向きに検討したい。

総合支所と本庁の位置づけ・あり方を問う



塩井川 幸生 議員

問 総合支所の決裁について、決裁の迅速化・市民にとって市民目線のスムーズなサービス提供ができるのか。

答 総合支所長の決裁権限については、部長級の権限を維持し、300万円未満の予定価格の設定や公有財産の売り払い等、予算執行ができるように維持している。決裁の迅速化については、グループ制の導入や300万円以下の財務課合議を不要とし、支所長への権限委譲、使送便の見直し、休暇申請等に電子決裁を導入してきた。これからの市民サービスの向上に努める。

観光霧島の施設整備について



厚地 覺 議員

問 観光霧島。おもてなしの心でと謳いながら、霧島温泉丸尾のバス停は屋根がなく、観光客は雨天時不愉快な思いをされている。思いやりの気持ちで帰っていただくためにも、構造物の設置を考慮すべきではないか。また、国民休養地の国道沿いにトイレがなく、来園者や花見客のための公衆用トイレの設置を考慮すべきではないか。

答 バス停の屋根の設置については、補助事業等検討したが、該当事業がなく、引き続き旅館協会や関係機関と協議し、市も対応策を検討する。国民休養地内の公衆トイレ

上に努める。

問 農政部関係職員を、身近なところで対応できる総合支所に配置できないか。

答 農政部関係の職員の配置については、今後、人員適正化等を考慮し、地域に適応した配置を考えていく。

公共工事請負規定について

問 現場代理人の常駐義務緩和策について、霧島市も地元業者育成の観点から取り入れるべきと思うがどうか。

答 霧島市も県の運用を準用して、本年3月1日以降に契約締結する工事について実施する予定である。



の設置はスピード感をもって対応する。



みやまコンセール前の桜

畜産振興について

問 霧島市は、肉用牛の産地であるが、今後、後継者不足にどのように対応していくか。

答 市内の繁殖農家は637戸で、70歳以上の農家が6割で、そのうち後継者のいる農家は、18戸の5%で、厳しい状態である。中核的畜産農家育成に取り組み、若手畜産農家支援策として、研修や交流に努めている。

道路拡幅工事を急げ



志摩 浩志 議員

問 宮内地区野崎の市道は整備され住宅化が進み、交通量も多いが、橋が狭く通学路でもあり大変危険である。事故防止のため橋の拡幅工事が必要ではないか。



写真上:宮内地区(野崎の橋) 写真下:宮内地区(中道の橋)

答 現地を確認し、橋が狭く大変危険と感じた。拡幅工事を進めたい。

角の下川の整備を強く要望する

問 川沿いの住民は洪水に悩まされている。梅雨前に、カーブの改修と寄り州の除去、川ざらえなど、県にもっと強く要望すべきではないか。

答 河川改修や維持管理については、県と連携し、今後も随時対応していく。河川改修の必要性は、引き続き県に強く要望していく。



写真上:角の下川中流 写真下:角の下川最下流

その他の質問
・観光行政について

公共工事の平準化に努めよ

問 公共事業の平準化を主張してきたが現状はどうか。県は現場代理人の兼任を試験運用するとして、本市はどのように考えているのか。

答 平準化については、担当部署では年間計画を立てて発注しているが、補助金の関係などで計画通りに執行できていない。今後は、一層早期発注、平準化に努めていく。現場代理人の常駐緩和策は、工事現場の運営など、発注者が認めた場合、兼任を認め、今年の3月1日以降実施していく。

その他の質問

・懸垂幕取付けタワーについて
・太陽光発電について